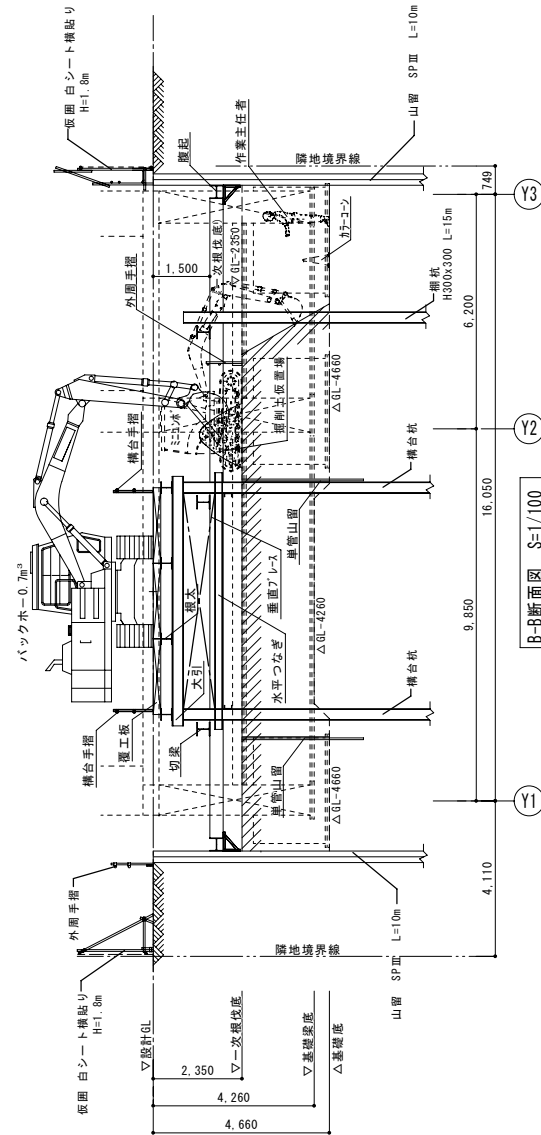


構台部材表

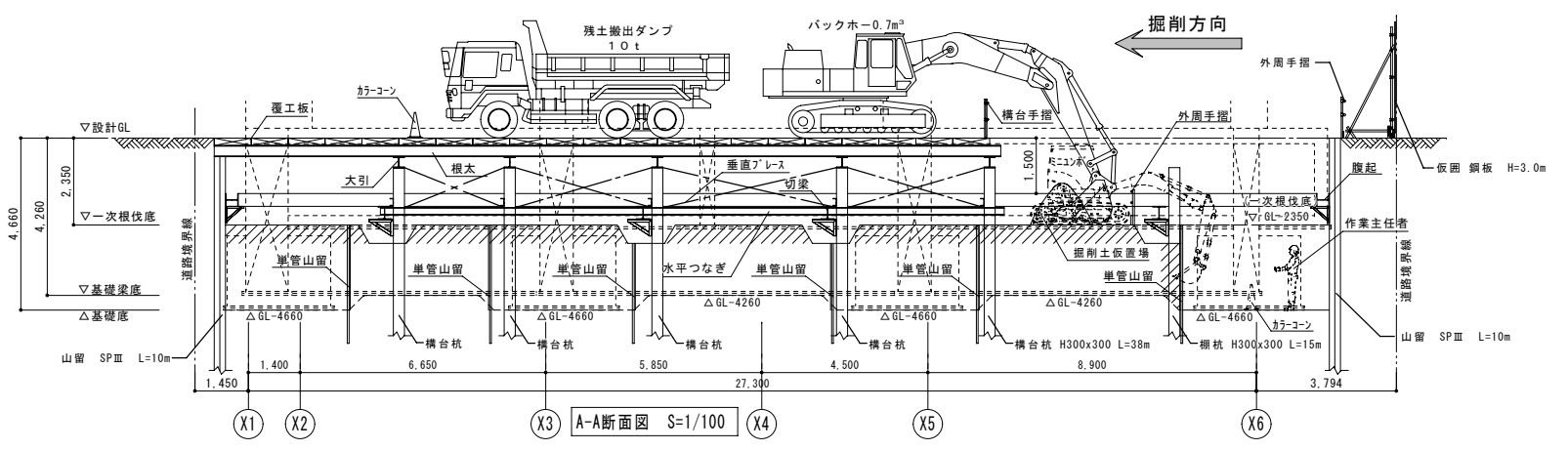
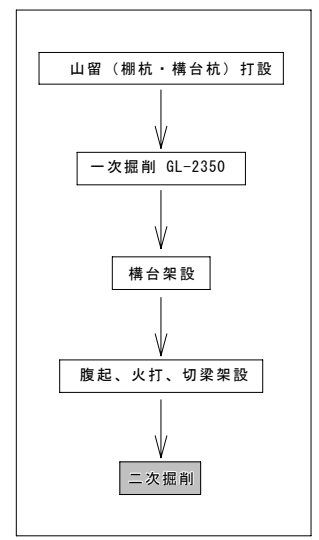
覆工板	2000x1000x200	63枚
根太	H300x300	
大引	H300x300	
水平つなぎ	L-200x90	
水平アレース	L75x75	
垂直アレース	L75x75	
構台杭	H300x300 L=38m	10本

山留部材表

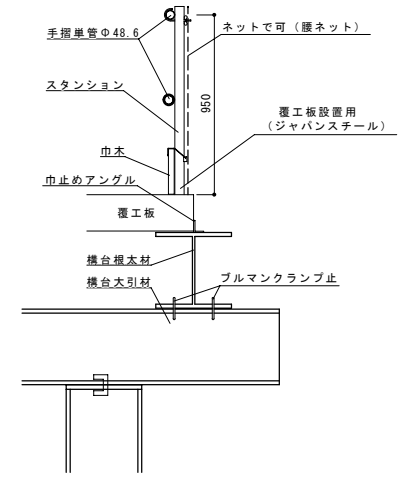
本体部	仕様	杭長	本数
本体部	SPⅢ (リース60)	L=10m	249
	SPⅢ (殺し)	L=10m	6
立駐部	SPⅢ (リース60)	L=10m	78
	SPⅢ (殺し)	L=10m	5
構台杭	H300x300	L=15m	10
	H300x300	L=38m	10
切梁	YH350x1段 (リース40)	L=143m	
	YH350x1段 (リース40)	L=99m	
火打	YH350x1段 (リース40)	L=48m	
	YH350x1段 (リース40)	L=29m	
立駐部	YH350x1段 (リース40)	L=10m	
	YH350x1段 (リース40)	L=10m	



作業手順



- 安全対策**
1. トラコン・コンバー又は単管ハ「ガード」を設置して重機の作業半径内立入禁止と表示する。
 2. 作業開始前に山留、切梁、作業構台の安全点検を行う。
 3. 作業開始前は地山の点検を行い、地山崩壊事故防止を行う。
 4. 車輛系建設機械は必ず、作業開始前点検を行ってから作業する。
 5. 重機の接触防止は合図者、誘導員を配置し、安全確認を行う。
 6. 鉄板は厚さ22mm以上とし、進捗状況により適宜変更する。
 7. 各作業場への安全通路は工事の進捗状況に応じて適宜変更する。
 8. 車輛系建設機械の合図は手信号、及び音による。
 9. 車輛系建設機械の施工は作業手順書に従い作業する。
 10. 掘削より先行して外周手摺を設ける。
 11. ダンプトラックの過積載を厳禁し、適時チェックを行う。



構台手摺詳細図